



～小児科診察室から～ 小児科医師 松下賢治

9月前半は相次ぐ台風到来で雨や風が強くなり心配しました。コロナ感染も鹿児島では少し落ち着いてきていますが、天文館でのクラスターもあり油断もできません。

さて、今は11月のインフルエンザ流行に向けて準備しています。インフルエンザワクチンもそのひとつ、10月後半より接種できるように準備しています。小児科医師会では今年からたくさんの方が受けられるように今までインフルエンザ予防接種を受けてきた9歳以上の方は1回接種が勧められています。

コロナワクチンは効果・安全性でまだすぐには実施できるか、情報を集めているところです。いずれにしても予防にはならないけど重症化を防ぐ意義はあるかと思っはいますが、まだ副反応の情報も心配です。

外来では朝晩の気温の変化で鼻風邪・喘息など咳での受診が増えてきており、胃腸炎の時も時々見られています。乳児でのRSウイルス感染もまだあります。運動会の練習疲れもあり、軽い熱中症を疑う児もいます。ですが、小児の流行病である手足口病・アデノウイルス感染症などは手洗い・マスクなどで一般感染症も減っているとの報告もあります。

このコロナ感染症で、社会の問題点が浮き彫りになっています。非正規で働いている人、女性労働者、福祉部門で働いてきている人たち、音楽・演劇など文化活動継続してきた人たち・・・様々な方たちが思いを発信できる環境になり、応援したくなります。個人でできる努力はしながら、公的部門・政治ができることを見直していきたいものです。

少し堅い話になりましたが、ジム・ロジャーズさんの「日本への警告」講談社&新書を読んでいると今の日本の現状、課題がみえてきます。コロナ後の世界が話題になっています。農業・観光などを活かした取り組み、日本の高品質製品、外国との付き合い方、色々学ぶものがあります。世界からみえてくる日本のおかれた厳しい現実をまだよくわかっていなかったと改めて思いました。

もう1つ残念な話題は、育児虐待増加のニュースです。2018年度のまとめで73人死亡(心中除いて54件) 育児放棄25人、身体虐待23人、0歳代は4割と傾向は同じです。妊婦健診未受診が12人と望まぬ妊娠例かと思われます。全体の7割で児童相談所に相談がないケースであり、誰にも相談できずに虐待につながっているのでしょうか。今、地方の保健所でも産後すぐから電話をかけられる体制を整えているようですが、それ以前の性的虐待を受けた時、外国のようにすぐにでもできる不妊の処置をもっと整えていく必要があります。性教育、お互いをもっと優しくいたわり合う環境が必要です。

すくすく子どもたち

～健康～ 小堀勝充

今年は新型コロナウイルスに翻弄され、人々は新しい生活様式を模索中です。改めて医学が人類と感染症とたたかひから逃げられないことを痛感させられます。

同時に最小の微生物であるウイルスに対する医学の無力さも思い知らされています。現在、新型コロナのワクチンや治療薬の開発が世界中で進められています。その中で迎えるインフルエンザの季節です。

日本感染症学会は、「今冬のインフルエンザとCOVID-19に備えて」という提言を出しています。その中で2020年初めのインフルエンザの流行が小規模だったと述べています。感染症対策が功を奏した、あるいは抑型コロナの流行がインフルエンザの流行に干渉したなどの理由が考えられると述べています。いずれにしても感染症対策を継続しながらインフルエンザの流行に備え予防接種をするよう勧められています。

今シーズンのインフルエンザワクチンは、昨年までと同様にA型2種類とB型2種類が含まれています。WHO(世界保健機関)からの情報により4種類のうち3種類が昨年のもから変更されています。

子どもの場合、インフルエンザやアデノウイルス、RSウイルスなど多くのウイルス感染症があるため新型コロナに感染しても外来診察では見分けることは困難です。特にインフルエンザと新型コロナの流行が重なると、確実な診断と治療のためには両方の検査が必要です。しかし、新型コロナはインフルエンザのように手軽に検査することができません。

ワクチンで防げる感染症は予防が大切です。インフルエンザはワクチンで予防できる可能性が高い病気です。今年は早めにかかりつけ医に相談して接種するようにしましょう。

(医療生協さいたま・熊谷生協病院長 小児科医師)

10月10日は目の愛護デー

目を大切に



2つの10を横に倒すと、眉と目の形に見えることから、10月10日は目の愛護デーとされています。乳児期は、子どもの目がもっとも育つ時期。この機会に子どもの「目」の健康をあらためて見直しましょう。

「見る力」を育てるポイント

☆明るさ、暗さのメリハリある生活を☆

日中は光を浴び、夜は暗くして眠る。

☆広い空間で体と目を動かす機会を☆

全身運動は眼球・視神経・脳の発達を促す。

☆色々なものを見る体験を☆

止まっているもの動いているもの、小さいもの大きいもの、遠くにあるもの近くにあるものなど、いろいろなものを見る体験が目によい刺激になる。

☆テレビやゲームは時間を決めて☆

テレビは正面から見る。いつも横目で見ていると、視力に左右差が出ることも。また、携帯ゲームなど狭い範囲の平面画像を見続けることは、目の負担になるので乳幼児は避ける。



新型コロナ下 親の心構えは・・・WHOが「6カ条」発表

新型コロナウイルス禍の子どもたちの不安を取り除こうと、世界保健機関(WHO)は、親が心がけるべき「6カ条」を公表しました。短時間でも子どもと一緒に遊ぶ時間をつくったり、新型コロナについて共に学んだりすることなどを推奨しています。

コロナ禍の親の心構え「6カ条」

- ◆子どもと1対1の時間をつくる
- ◆新しいルーティン(日課)をつくる
- ◆落ち着いてストレスと向き合う
- ◆親が前向きに物事をきちんと伝える
- ◆子どもが「悪い子」になったときには一呼吸置く
- ◆新型コロナウイルス感染症について正確な情報を話す



10月から予防接種が受けやすくなります

ロタウイルス感染症の予防接種が定期接種になります



鹿児島市に住民登録がある、令和2年8月1日以降に生まれた方が対象です。
現在、ワクチンは2種類あり、有効性は同等と考えられています。それぞれのワクチンで、接種回数や接種量が異なるため、同じワクチンで決められた回数の接種を完了させましょう。

対象者

ワクチンの種類	接種対象年齢	回数	接種間隔	接種方法
ロタリックス（1価）	出生6週0日～24週0日後まで	2回	27日以上	経口接種
ロタテック（5価）	出生6週0日～32週0日後まで	3回	27日以上	経口接種

*両ワクチンとも安全性の観点から、初回接種の標準的接種期間は生後2月から出生14週6日（生後15週未満）までに接種することが推奨されています

実施場所：受託医療機関

予診票：誕生月の翌月の中旬頃に個別に送付予定

接種料金：無料

*令和2年9月30日以前に接種した場合は任意接種扱いとなり公費扱いとなり公費対象（無料）となりませんのでご注意ください。

払い戻しはございません。

詳しくは鹿児島市保健所 保健予防課 感染症対策係へお問い合わせください。 TEL099-803-7023 8:30～17:15（土日祝・年末年始を除く）



異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔のルールが一部変更されます

- ・2020年9月末までは、不活化ワクチンの接種後6日以上、生ワクチンの接種後27日以上の間隔をおかなければ、次のワクチン接種を受けることができないルールでした。
- ・2020年10月からは、下記の3つのルールを守れば、前のワクチン接種からの間隔にかかわらず、異なるワクチンの接種を受けることができるようになります。

～接種間隔についての3つのルールです～

- ①注射生ワクチンから次の注射生ワクチンの接種を受けるまでは27日以上の間隔をおくこと。
※注射生ワクチンとは、麻しん風しん混合ワクチン・水痘ワクチン・BCGワクチンなど
- ②同じ種類のワクチンの接種を複数回受ける場合はワクチンごとに決められた間隔を守ること。
※ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、ロタウイルスワクチン、B型肝炎ワクチンなど、それぞれのワクチンの複数回受ける際の間隔が決められています。
- ③発熱や接種部位の腫脹（はれ）がないこと、体調が良いことを確認し、かかりつけ医に相談の上、接種を受けること。



接種間隔についての3つのルールを守っている場合には、次のワクチンの接種を受けるまでの間隔に制限はありません。

かかりつけ医に相談の上、接種を受けるようにしてください。

余裕をもったスケジュールで、計画的に接種を受けましょう。

※定期接種においては、接種を受けることができる年齢がワクチンごとに決められています。

（厚生労働省 ホームページより）

上記のような発表がありました。接種間隔については当院小児科までご相談ください。

インフルエンザ予防接種のご案内

今年度も当院ではインフルエンザの予防接種を開始します。電話での事前予約制になりますのでご了承ください。

<対象者>

- * 9歳以上 …… 1回接種
- * 生後6ヶ月～9歳未満 …… 2回接種（間隔を2～3週間あけます）



・今季は例年、インフルエンザの流行する冬期に、新型コロナウイルス感染症の流行が重なることが懸念されています。より多くの方に接種ができるよう、2回接種の年齢を13歳 ⇒ 9歳に変更しています。

・インフルエンザワクチンを昨季に接種している場合は、1回接種でも重症予防効果が見込まれることが分かっています。皆様のご協力をお願いします。

<予約時のお願い>

※お問い合わせ・ご予約はできるだけ14時以降でお願いします。

▲予約申込者以外の接種はできません。

▲予約時に来院時間を確認させていただきます。3密防止のために時間通りの来院をお願いします。

▲2回接種対象者の方は予約時に2回目までの予約をお願いしています。今年は希望者が多くなることが予想されるためワクチン確保の確約ができなくなる場合があります。

<接種日>

通常診察日の月・金曜日 15:00～17:30

インフルエンザ予防接種のみの特別日 11/4（水） 11/18（水） 12/2（水） 12/16（水） 15:00～16:30

11/14（土） 11/28（土） 12/12（土） 12/26（土） 14:00～16:30

<料金>

組合員：2,750円（税込） 非組合員：5,137円（税込） 詳しくは当院までお問い合わせください ☎099-252-1321